

ル・ペール山の会 山行記録

六甲 有馬二山（落葉山、灰形山）

年 月 日	2023 年 1 月 16 日
天 気	曇り
集合場所・時間	阪急夙川駅 9 時 25 分
参加人数	16 名
歩行時間・距離	2 時間 4.0km
費 用	1、220 円

コースタイム

(往) さくらやまなみバス夙川 9 : 30⇒有馬温泉泉 (太閤橋) BS10 : 08～ (体操)
10 : 15～10 : 25～登山口～妙見寺/落葉山 (533m) 11:00/11 : 10～灰形山 (619m)
(昼食) 11 : 55/12:20～有馬への分岐 (標識き 8-4) 12:30～鼓ヶ滝公園～ 有馬温泉
(太閤橋) BS13:10 (解散)
○湯槽谷山組
～有馬への分岐～湯槽谷山 13 : 00～湯槽谷峠 13 : 22～林道出会 14 : 20～有馬温泉 BS
14 : 50 (解散)

感 想

天候は曇り。気温は 11℃と山歩きには最適。今日のコースは有馬三山のうち落葉山・灰形山。※希望者は湯槽谷山。「有馬三山」の名称は有馬の歴史にちなんでいる。起伏にとんだ尾根道で眺望が楽しめる場所が点在するが急坂の上り下りの繰り返しでなかなか体力がいる。妙見寺入り口に明治の始めに大阪商人が寄進したという開運の亀のはく製を見る。階段を登り足利義満が寄進したとされる妙見寺前で記念写真を撮影。少し登ると落葉山 (533m)。仁西上人 (温泉中興の祖) がこの山から木の葉を投げ有馬温泉を掘りあて名付けたそう。落葉山から灰形山までの尾根道は狭いので転倒しないように、また丸太の階段と坂はきついので小休止をとりながら登っていく。灰形山 (619m) に到着。ここで昼食とる。灰形山の名称は千利休が秀吉の茶会の際に風炉の灰をこの山に似せて盛ったことよりこの名が名付けられたとのこと。有馬分岐で湯槽谷山組と別れる。神戸市の有馬分室担当のお話では有馬三山は江戸時代の絵図にすでに記載されているそう。無事に有馬温泉の太閤橋まで降りる。皆さん、お土産の有馬炭酸せんべいを購入して解散。
※湯槽谷山 (ゆぶねだにやま) (801m) 組の感想より。200mの急登。湯槽谷峠から林道出会までは難路で第四堰堤超えは苦労した。